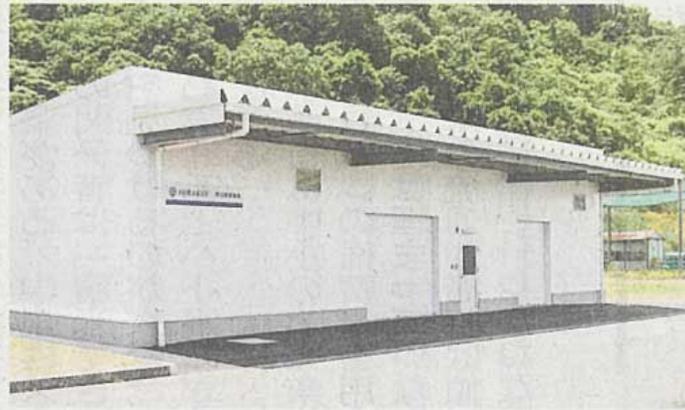


2025年6月10日山陽新聞朝刊

## 南海トラフ備え 御津に備蓄倉庫

平林金属  
リサイクル業の平林金属

(岡山市北区下中野)は、御津第2工場(同御津高津)に災害対策用の備蓄倉庫を整備した。米や飲料水、防



平林金属が御津第2工場に整備した災害対策用の備蓄倉庫

寒具をそろえ、非常時には従業員だけでなく、その家族や地域住民にも提供する。総工費は約1億円。

倉庫は鉄骨平屋約390平方メートルで、3分の1は空調設備を備えて室内温度を約15度に保てるスペースとした。米や長期保存が可能なレトルト食品といった食糧のほか、簡易トイレ、蓄電池といった物資を保管。グループの従業員約500人、家族や御津第2工場近くの住民ら約1500人が3日過ごすことを想定して段階的に調達するという。

近い将来に発生が懸念される南海トラフ巨大地震など大規模災害へ備えるため、海拔約200メートルの高台にある御津第2工場へ整備した。平林金属は「今後はマニュアルも作成して災害への備えを強化したい」としている。(橋本直樹)